

中国一級国宝を当時のままに復元

当時のままに復元し立碑した碑は、
いずれも中国第一級の国宝です。

碑の復元には中国と日本の最も古くよい拓本を基に
書体、書学を研究して原稿を作成し陝西省碑林博物館の
技術と協力を得て、創建当時の姿のままに復元したもので
現存する中国の碑は文字に亀裂が入り又、剝落したりしています。

これらの碑は今までに復元されたことはなく、
それゆえ大門碑林は中国や日本書道史上、画期的な事業だと
言われているゆえんです。

そのために、多くの識者や著名な書道家の注目を集めています。



■開園時間 AM 9:30 ~ PM 5:00 (入園時間 PM4:00迄)
(冬季期間時間変更あり)

■休園日 毎週月曜日 (月曜日が休日の場合は、その翌日)
年末年始 (12月27日~1月4日)
休園日は変更になることがありますので、お問い合わせ下さい。

■入園料 一般・大学生 600円 (500円)、高校生 500円 (400円)
小・中学生 250円 (200円)、カコ内は15名以上団体料金
[探訪コーナー] 一般・大学生 1,000円、高校生以下 500円

■電車ご利用の場合

● JR 中央本線特急+身延線 (甲府駅乗り換え) 利用の場合

・新宿駅 → 約1時間30分 [特急] → 甲府駅 → 約20分 [特急] → 市川大門駅
・松本駅 → 約1時間20分 [特急]

● 身延線特急ふじかわ利用の場合

・静岡駅 → 約1時間50分 [特急] → 市川大門駅
・甲府駅 → 約35分 [普通] → 市川本町駅

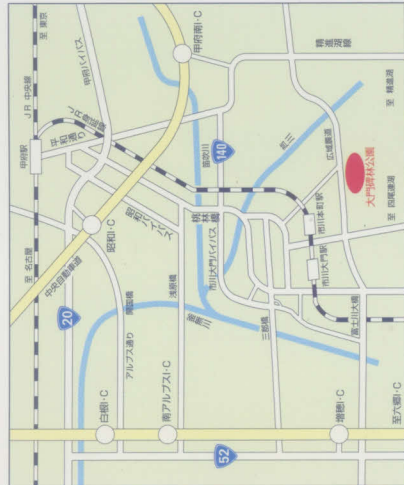
■お車ご利用の場合

● 中央自動車道利用の場合

・新宿 → 約1時間30分 → 甲府南 I.C. → 約20分 → 市川三郷町
・新宿 → 約1時間50分 → 増穂 I.C. (中部横断自動車道) → 約5分 → 市川三郷町
・長野 → 約2時間20分 → 増穂 I.C. (中部横断自動車道) → 約5分 → 市川三郷町
・名古屋 → 約3時間20分 → 増穂 I.C. (中部横断自動車道) → 約5分 → 市川三郷町

● 新東名高速道利用の場合

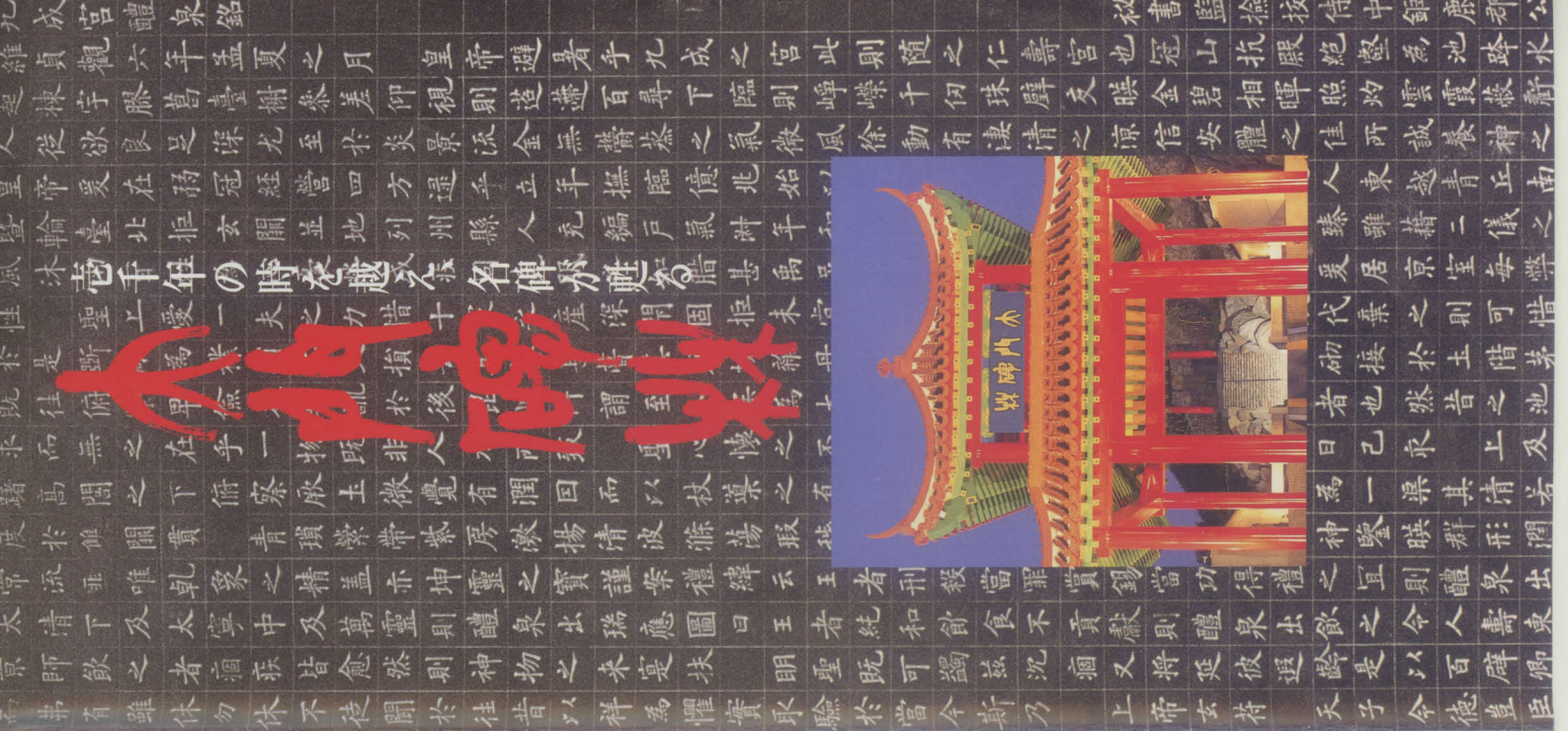
・新宿 → 約3時間 → 増穂 I.C. (中部横断自動車道) → 約5分 → 市川三郷町
・名古屋 → 約3時間5分 → 増穂 I.C. (中部横断自動車道) → 約5分 → 市川三郷町



● J R 市川本町駅より徒歩 15 分

市川三郷町大門碑林公園

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門 4930
TEL.055 (272) 7100 FAX.055 (272) 0499





石に刻まれた古文書

5年の歳月をかけ完成した大門碑林公園は、中国で最も著名な陝西省の西安碑林と山東省の曲阜碑林の名碑を集めた公園です。古くから書道の宝典とされてきた書聖・王羲之の書を集字してつくられた集王聖教序碑をはじめとして、中国歴代の名碑15基が中心であり、これらは中国三大博物館の一つ陝西省碑林博物館の監修・制作により、創建当時のままに復元され、大門碑林として千余年の歴史を越えて甦りました。

これらの碑は中国歴代王朝のものが多く、まさに石に刻まれた古文書ということができません。古い石碑は中国では国宝として大切に保存され、拓本を取ったり碑の複製は許されていません。

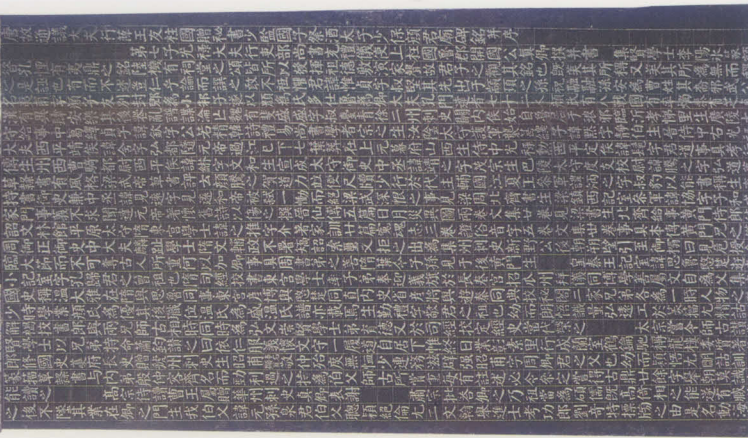
大門碑林は、後漢（西暦156年）から唐（西暦841年）までの碑を復元して自然の丘陵に配置した他に比類ないものです。

石碑の説明システムで、皆様に3ヶ国語でわかりやすく解説



● 憩いの広場

曲水苑で語らい憩う広場です。



拓本

拓本とは、石碑などの表面に刻された文字や図像などを紙と墨を用いて写し取ったものである。この技法は中国で生まれ発達し、千余年の伝統があります。先人が石などに刻して残した書や絵を拓することにより、一枚の紙に白と黒の陰影となって生まれ変らせることができます。



● 採拓コーナー

拓本の楽しさおもしろさを知っていただくコーナーです。初心者には指導員が拓本の解説から取り方まで指導いたします。

石鼓文、千字文、蘭亭序、樂毅論、十七帖、開成石經（「平成」の年号の由来になった文が入っている）良寛の般若心経・天上大風、漢委奴国王の金印、弘法大師座右の銘、武田信玄の祈願文、渡辺青洲の書などを採拓して楽しむことができます。

● 文化と武道の館（見学無料）

ジャンボ硯、世界一のジャンボ墨、拓本、和紙など展示してあります。



● 大門碑林全国書道展歴史代大会大賞受賞作品展示

大会大賞を受賞した方々の作品を永久刻碑して展示しています。



大門碑林公園

案内図

市川三郷町には千年の歴史を誇る和紙と武田氏を起源とする花火、すばらしい自然に囲まれた県立自然公園四連尾湖があります。

大門碑林公園は、町民の憩いの広場として甲斐源氏発祥の地、平塩岡にあり、人と自然、歴史と文化、人と人のふれあいの場を作りたいとの願いから、又ふるさと創生事業として和紙と書道とを中核にして、日本一の書道のまちを目指しつくられました。

現在、書を学ぶ人は全国で1千万人とも言われております。町では、公園に隣接する文化と武道の館において毎年大門碑林全国書道展を開催しています。

大門碑林の原碑は高等学校の書道の教科書にも使われており、又書道を学ぶ人にとっては、一番の手本となっております。



八分隸の代表作の一つ
1 西嶽華山廟碑 後漢（二六五年）
 古代の周から漢時代にかけて歴代の朝廷が中国の名山の一つである西嶽華山を祭り、また衰逢なる人物が西嶽華山廟を修造した経過が記されている。

漢隸の中で最も女性的な美しさ

2 曹全碑 後漢（二八五年）
 曹全という人物の業績、徳行を記す。

漢隸古拙派の代表

3 張遷碑 後漢（二八六年）
 張遷なる人物の履歴とその業績を記す。

中国書道史上における楷書の第一

4 九成宮醴泉銘碑 唐（六三三年）



九成宮は、唐の太宗の離宮（別荘）である。西安の近くの麟游県の山中にあり、夏の避暑にふさわしい地であった。太宗がこの離宮に滞在した折に素晴らしい泉を発見したのを記念して建立された。魏徴が文を作り欧陽詢が書した。欧陽詢七十六歳の書である。

漢の隸書第一の名品

5 礼器碑 後漢（一五六六年）
 魯の大吏である韓勅が孔子廟や孔廟の祭器を修造したと、またこれを行った韓勅の業績を記す。

北魏体の代表作

6 張猛龍碑 北魏（五三二年）
 魯郡の太守（長官）であった張猛龍の徳を称えるために建てられた。

北魏体の名品

7 高貞碑 北魏（五三三年）
 北魏王朝に仕えた高貞の墓道に建てられ、高貞の人となり、その業績を記す。

柳公権の代表作

8 玄秘塔碑 唐（八四一年）
 裴休の撰文、柳公権の書、大達法師端甫の事跡をたたえ、



初唐の三大家の一人、歐陽詢の書
9 大唐宗聖觀記碑

碑額には楷書で「大唐宗聖觀記」とあり、碑文は楷書と隸書が混在した書風である。

唐の楷書の代表作

10 孔子廟堂碑 唐（六二六年）

虞世南の書。孔子を祀る廟の再建記念碑として建てられた。

初唐楷書の名品

11 雁塔聖教序碑

唐（六五三年）

褚遂良の書、萬文韶の刻。陝西省西安の慈恩寺の大雁塔の下に「序碑」と「記碑」が左右に分けて壁面にはめこまれている。この碑は、玄奘三蔵法師がインドよりもたらした事跡を称誉することを記す。褚遂良五十八歳の作である。

行草書の典型

13 集王聖教序碑 唐（六七一年）

玄奘三蔵法師の仏典の将来及び漢訳事跡を称賛した碑である。唐の太宗の序文、高宗の記並びに般若心経が刻されている。僧懷仁が当時の唐の王室に伝来する書聖・王羲之の書蹟の中から文字を集め、王羲之が書したかのように造った。

初唐楷書の名品の一つ

14 皇甫誕碑 唐（六二七〜六四一年）

于志寧が文章を作り、歐陽詢が書いた。この碑は、隋王朝に仕えた名臣・皇甫誕の業績を記す。

顔書の代表作

15 顔氏家廟碑 唐（七八〇年）

顔真卿の撰文ならびに書。顔真卿七十二歳の晩年の作であり、父惟貞のために廟を造り、碑を建て、顔家の履歴を記す。

